

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年11月13日

【四半期会計期間】 第4期第2四半期(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

【会社名】 株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングス

【英訳名】 VITAL KSK HOLDINGS, INC.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 鈴木 賢

【本店の所在の場所】 東京都世田谷区弦巻一丁目1番12号

(上記は登記上の本店所在地で実際の業務は下記最寄りの連絡場所で行っております。)

【電話番号】 (03)3275 - 3301(代表)

【事務連絡者氏名】 経営企画部長兼経理財務部長 高橋 喜春

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋室町一丁目9番12号

【電話番号】 (03)3275 - 3301(代表)

【事務連絡者氏名】 経営企画部長兼経理財務部長 高橋 喜春

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第3期 第2四半期 連結累計期間	第4期 第2四半期 連結累計期間	第3期
会計期間		自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高	(百万円)	265,813	269,786	541,650
経常利益	(百万円)	1,270	3,532	4,608
四半期(当期)純利益	(百万円)	1,357	2,296	3,154
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	1,347	2,083	5,426
純資産額	(百万円)	52,540	57,990	56,264
総資産額	(百万円)	252,397	263,400	270,622
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	22.90	38.75	53.23
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	20.7	21.9	20.7
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	8,157	759	12,863
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	1,452	1,668	4,474
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	4,677	609	6,510
現金および現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	10,883	27,350	27,050

回次		第3期 第2四半期 連結会計期間	第4期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	10.79	16.29

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社に異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要により緩やかに回復しつつあるものの、欧州の金融不安や円高の長期化等の影響で、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、当期は3カ年中期経営計画『統合・先進・現場力』の最終年度となっております。主要な事業子会社(株)バイタルネットと(株)ケーエスケー)では、営業戦略システム『V Kマーケティング』が本年4月より本格稼働し、得意先別営業損益状況を基にした新たな営業戦略の立案・実行による営業競争力強化を図っております。また、事業子会社の本社定型業務を受託する「(株)V Kシェアードサービス」による業務効率化等を推進し、コスト削減にも取り組んでおります。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高269,786百万円(前年同期比101.5%)、連結営業利益1,956百万円(前年同期は312百万円の連結営業損失)、連結経常利益3,532百万円(前年同期比278.2%)、連結四半期純利益2,296百万円(前年同期比169.3%)となりました。

今後につきましては、『V Kマーケティング』の活用による営業競争力の強化により一層注力する一方、業務効率化の推進やグループ全体での人員配置の見直し等によるコスト削減を実行し、利益の確保に努めてまいります。また、医薬品卸売業界共通の課題である、単品単価による納入価交渉の早期妥結等にも引き続き注力してまいります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

医薬品卸売事業

当社グループの主たる事業であります医薬品卸売事業におきましては、国による医療費抑制策により平成24年4月の薬価改定で実質6.4%の薬価の引下げが行なわれ、大幅な薬価ダウンとなった長期収載品の販売が減少したものの、平成22年4月の薬価改定時に試行的に導入され今回の薬価改定でも継続された「新薬創出・適応外薬解消等促進加算」の対象品目や新製品等の販売に注力する一方、単品単価による納入価交渉を推進してまいりました。また、一部のメーカーでの共同仕入による利益の獲得にも努めてまいりました。

その結果、売上高は、263,032百万円（前年同期比101.5%）、セグメント利益（営業利益）は、1,759百万円（前年同期は502百万円のセグメント損失）となりました。

その他事業

その他事業におきましては、動物薬卸売事業や小売業が好調に推移した結果、売上高は、6,753百万円（前年同期比102.5%）となり、セグメント利益（営業利益）は、139百万円（前年同期比103.8%）となりました。

（2）キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、27,350百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、営業活動による資金の減少は759百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益3,666百万円の計上、非資金項目である減価償却費1,112百万円の計上、未収入金の減少額2,646百万円等の増加要因の他、仕入債務の減少額7,132百万円、法人税等の支払額1,278百万円等の減少要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、投資活動による資金の増加は1,668百万円となりました。これは主として定期預金の減少額1,853百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、財務活動による資金の減少は609百万円となりました。これは主として配当金の支払額355百万円、リース債務の返済による支出287百万円等によるものであります。

（3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題はありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した対処すべき課題に重要な変更はありません。

（4）研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	230,000,000
計	230,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	61,224,796	61,224,796	東京証券取引所(市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	61,224,796	61,224,796		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年9月30日		61,224		5,000		1,250

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(有)鈴彦	仙台市青葉区錦町2丁目4番60号	4,892	7.99
第一三共(株)	東京都中央区日本橋本町3丁目5番1号	3,691	6.03
田辺三菱製薬(株)	大阪市中央区北浜2丁目6番18号	2,655	4.34
ケーエスケー従業員持株会	大阪市中央区本町橋1番20号	2,001	3.27
大日本住友製薬(株)	大阪市中央区道修町2丁目6番8号	1,449	2.37
鈴木 淳	新潟市中央区	1,261	2.06
鈴木 賢	仙台市青葉区	1,201	1.96
(有)クエコ	盛岡市住吉町4丁目4番	1,187	1.94
武田薬品工業(株)	大阪市中央区道修町4丁目1番1号	1,163	1.90
鈴木 定子	新潟市中央区	1,081	1.77
計		20,585	33.62

(注) 当社は自己株式を1,957千株保有しておりますが、上記の大株主の状況からは除いております。なお、発行済株式総数に対する所有株式数の割合は3.20%となっております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,957,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 59,200,900	592,009	
単元未満株式	普通株式 66,096		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	61,224,796		
総株主の議決権		592,009	

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、(株)証券保管振替機構名義の株式が500株(議決権5個)含まれております。

2. 「単元未満株式」の株式数の欄には、(株)証券保管振替機構名義の株式が55株、当社保有の自己株式が64株含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株)バイタルケーエスケー・ホ ールディングス	東京都世田谷区 弦巻一丁目1番12号	1,957,800		1,957,800	3.20
計		1,957,800		1,957,800	3.20

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,216	35,663
受取手形及び売掛金	³ 120,049	³ 118,167
たな卸資産	¹ 27,913	¹ 27,910
未収入金	15,850	13,210
その他	1,978	2,007
貸倒引当金	1,622	1,573
流動資産合計	201,385	195,387
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,695	12,338
土地	17,775	17,732
その他(純額)	2,315	2,099
有形固定資産合計	32,787	32,170
無形固定資産		
その他	2,025	1,762
無形固定資産合計	2,025	1,762
投資その他の資産		
その他	35,974	35,585
貸倒引当金	1,549	1,506
投資その他の資産合計	34,424	34,079
固定資産合計	69,237	68,012
資産合計	270,622	263,400

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3 186,005	3 178,872
短期借入金	1,314	1,350
未払法人税等	1,339	1,398
賞与引当金	1,449	1,308
その他の引当金	194	177
その他	3,671	2,661
流動負債合計	193,974	185,768
固定負債		
退職給付引当金	8,812	8,780
その他の引当金	213	218
負ののれん	5,162	4,790
その他	6,193	5,851
固定負債合計	20,382	19,641
負債合計	214,357	205,410
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	12,675	12,675
利益剰余金	31,942	33,884
自己株式	1,200	1,200
株主資本合計	48,417	50,358
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,538	7,302
その他の包括利益累計額合計	7,538	7,302
少数株主持分	309	328
純資産合計	56,264	57,990
負債純資産合計	270,622	263,400

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	265,813	269,786
売上原価	247,453	249,279
売上総利益	18,360	20,506
返品調整引当金戻入額	162	176
返品調整引当金繰入額	166	177
差引売上総利益	18,355	20,505
販売費及び一般管理費	18,667	18,549
営業利益又は営業損失()	312	1,956
営業外収益		
受取利息	69	79
受取配当金	316	302
負ののれん償却額	372	372
受取事務手数料	709	717
その他	161	141
営業外収益合計	1,629	1,613
営業外費用		
支払利息	32	25
その他	14	11
営業外費用合計	46	36
経常利益	1,270	3,532
特別利益		
固定資産売却益	6	0
貸倒引当金戻入額	800	56
災害見舞金	316	-
受取補償金	-	149
その他	183	12
特別利益合計	1,307	218
特別損失		
固定資産売却損	1	6
減損損失	123	11
投資有価証券評価損	88	22
災害による損失	61	15
その他	26	28
特別損失合計	302	84
税金等調整前四半期純利益	2,274	3,666
法人税等	895	1,347
少数株主損益調整前四半期純利益	1,379	2,318
少数株主利益	22	21
四半期純利益	1,357	2,296

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,379	2,318
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	31	235
その他の包括利益合計	31	235
四半期包括利益	1,347	2,083
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,325	2,061
少数株主に係る四半期包括利益	22	21

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,274	3,666
減価償却費	1,151	1,112
減損損失	123	11
のれん償却額	3	5
負ののれん償却額	372	372
貸倒引当金の増減額(は減少)	782	92
賞与引当金の増減額(は減少)	26	141
災害損失引当金の増減額(は減少)	176	17
退職給付引当金の増減額(は減少)	117	139
受取利息及び受取配当金	385	382
受取賃貸料	42	39
受取事務手数料	709	717
支払利息	32	25
投資有価証券売却及び評価損益(は益)	66	35
有形固定資産除売却損益(は益)	3	8
災害見舞金	316	-
売上債権の増減額(は増加)	6,317	1,796
たな卸資産の増減額(は増加)	2,748	2
未収入金の増減額(は増加)	42	2,646
仕入債務の増減額(は減少)	7,239	7,132
差入保証金の増減額(は増加)	45	54
その他	106	1,042
小計	10,017	822
利息及び配当金の受取額	389	382
受取事務手数料の受取額	704	710
災害見舞金の受取額	316	-
受取補償金の受取額	-	149
利息の支払額	32	25
法人税等の支払額	119	1,278
法人税等の還付額	613	129
その他	12	3
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,157	759

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(は増加)	1,357	1,853
有形固定資産の取得による支出	107	254
有形固定資産の売却による収入	104	50
無形固定資産の取得による支出	183	116
投資有価証券の取得による支出	71	85
投資有価証券の売却による収入	112	125
その他	50	96
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,452	1,668
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(は減少)	5,100	40
長期借入れによる収入	900	-
長期借入金の返済による支出	3	3
リース債務の返済による支出	274	287
社債の償還による支出	200	-
自己株式の取得による支出	0	0
配当金の支払額	-	355
その他	-	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,677	609
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	14,288	300
現金及び現金同等物の期首残高	25,171	27,050
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,883 ₁	27,350 ₁

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年9月30日)	
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	
当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。	
これによる第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。	

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年9月30日)	
税金費用の計算	税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 たな卸資産の内訳

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
商品及び製品	27,881百万円	27,882百万円
仕掛品	4百万円	5百万円
原材料及び貯蔵品	27百万円	22百万円

2 保証債務

連結会社以外の会社及び連結子会社の従業員の金融機関からの借入及び連結会社以外の会社の仕入債務に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
(株)宮城登米広域介護サービス (金融機関借入金)	33百万円	(株)宮城登米広域介護サービス (金融機関借入金) 29百万円
(株)ケーエスケー従業員 (金融機関借入金)	7百万円	(株)ケーエスケー従業員 (金融機関借入金) 5百万円
(株)井上誠昌堂従業員 (金融機関借入金)	5百万円	(株)井上誠昌堂従業員 (金融機関借入金) 5百万円
塩釜蠻紅華湯(株) (仕入債務)	0百万円	塩釜蠻紅華湯(株) (仕入債務) 0百万円
計	46百万円	計 40百万円

3 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	947百万円	938百万円
支払手形	378百万円	297百万円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
給与・賞与・手当	8,632百万円	8,425百万円
賞与引当金繰入額	1,090百万円	1,274百万円
退職給付費用	919百万円	885百万円
貸倒引当金繰入額	49百万円	20百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	19,060百万円	35,663百万円
預入期間が3カ月を超える定期預金	8,177百万円	8,313百万円
現金及び現金同等物	10,883百万円	27,350百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月7日 取締役会	普通株式	355百万円	6.00円	平成23年9月30日	平成23年12月5日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月14日 取締役会	普通株式	355百万円	6.00円	平成24年3月31日	平成24年6月11日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月5日 取締役会	普通株式	355百万円	6.00円	平成24年9月30日	平成24年12月3日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	医薬品卸売 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	259,226	259,226	6,587	265,813		265,813
セグメント間の内部売上高又は振替高	683	683	1,314	1,997	1,997	
計	259,910	259,910	7,901	267,811	1,997	265,813
セグメント利益又は損失()	502	502	134	368	56	312

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品等の小売業、農薬・動物用医薬品の卸売業、運送業、介護サービス業、医療機関に対するコンサルティング業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額56百万円はセグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	医薬品卸売 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	263,032	263,032	6,753	269,786		269,786
セグメント間の内部売上高又は振替高	627	627	1,287	1,915	1,915	
計	263,660	263,660	8,041	271,701	1,915	269,786
セグメント利益	1,759	1,759	139	1,898	57	1,956

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品等の小売業、農薬・動物用医薬品の卸売業、運送業、介護サービス業、医療機関に対するコンサルティング業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額57百万円はセグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更による当第2四半期連結累計期間の各報告セグメントのセグメント利益に与える影響は軽微であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	22円90銭	38円75銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,357	2,296
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,357	2,296
普通株式の期中平均株式数(千株)	59,266	59,266

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

第4期(平成24年4月1日から平成25年3月31日)中間配当については、平成24年11月5日開催の臨時取締役会において、平成24年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次の通り中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 355百万円

1株当たりの金額 6円00銭

支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成24年12月3日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月7日

株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングス

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 菅 博 雄 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 井 上 嘉 之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 高 原 透 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングスの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングス及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。